

もっと清水が好きになる。

しみずの風

2020

1

No.555

謹賀
新年



特集

第22回全国農業担い手サミットinしずおか
静岡の力強い農業を全国にアピール

あなたの立場で一生懸命
JAしみず

Photo

ミカン収穫最盛期
(撮影協力:片平茂二さん)

不断の自己改革「たちばな」と共に



代表理事組合長
柴田 篤郎

あけましておめでとうございます。
皆さまにおかれましては、健やかな新春
をお迎えのこととお慶び申し上げます。
旧年中は、JA事業に格別なるご支援、
ご協力をいただき感謝申し上げます。
昨年は、2018年度から実施した
「JAの自己改革に関する組合員アン
ケート」の結果を取りまとめました。調

査結果では、営農指導事業・販売事業・生
産資材購買事業の自己改革の取り組み
について多くの組合員から期待や満足、
激励の声を聞くことができました。
JAの自己改革は、JAの本質に戻る
ことだと信じています。組合員とJAが
真摯に向き合って耳を傾けることが協
同組合運動です。





C O N T E N T S

- 2 新春のごあいさつ/
代表理事組合長 柴田篤郎
- 4 特集/
第22回全国農業担い手サミットinしずおか
静岡の力強い農業を全国にアピール
- 8 アグリフェスタしみず2019
- 10 TOPICS
- 13 遠山由美のこだわりレシピ
「きらび香の甘酒ティラミス」
- 14 Information
- 16 ワンパクしみずっ子
「草薙ふたばこども園」



スマートフォン、タブレット、
パソコンから記事の一部が
動画でご覧になれます。



しみの風の
記事の一部を
Web 動画で配信中!!



スマートフォン、タブレット、
パソコンからご覧になれます。



本誌で紹介できなかった
記事やお得情報を
発信しています!

対話の中からアイデアが生まれ、昨年は農家組合員の相談相手となって提案や指導を行う、出向く体制「H・TAC（ハイタック）」や、農業所得向上と子どもたちの未来を応援する「しみずみらい応援団」などを実現し、また、J A しみず S D G s 宣言を発表しました。持続可能な農業を目指し、地域と共に歩んでいきます。

本年も自主自立のJ A しみずとして、組合員の声に基づいて「不断の自己改革」に取り組んでいく所存です。

記念すべき令和元年の昨年の暮れには、寛仁親王妃信子さまがご来清さ

れ、上皇陛下が皇太子だった50年前のこ
来清記念樹である「たちばな」の接ぎ木
の苗を、お手植えしていただきました。

信子さまにかけていただいた、「末永く
大事に育ててくださいね。上皇さまにも
しっかりと伝えます」のお言葉は、とても
心に残りました。「たちばな」の成長と共に、
清水の農業が末永く繁栄し、そして
担い手である若手農家が育つことを
願っています。

組合員の皆さまには、本年も変わらぬ
ご支援、ご協力を賜りますようよろしく
お願い申し上げます、新年のごあいさつとさ
せていただきます。

静岡の力強い農業を全国にアピール

農のキズナを深め、日本の農業の熱い思いを語る

静岡市駿河区のグランシップで5日に開かれた開会式典には、寛仁親王妃信子さまも出席され「担い手の活躍は、これからの農業の糧となります。サミットを通して活力ある農業を目指してください」と参加者を励まされました。実行委員会の水崎久司県認定農業

者協会会長は「本県は温暖な気候を生かし、全国トップクラスの多彩な農産物を栽培しています。大会や地域交流会を通じて農のキズナを深めていきたい」と歓迎のあいさつをしました。

全国優良経営体表彰・農林水産大臣賞表彰式が行われ、(有)なかしま園(静岡市)、(農)富士農場サービス(富士宮市)、(農)八女美緑園製業(福岡県)、(有)トップリバー(長野県)など12団体が表彰を受けました。

同表彰の経営改善部門を受賞した(有)なかしま園の中島正子さん、生産技術革新部門受賞の(農)富士農場サービスの桑原康さんなど4人は、担い手として全国の農業者に向けてメッセージを発表しました。

事例発表では若手農家である(有)グ

リーンエイト(清水区和田島)の北條広樹代表取締役と、うなぎいも協同組合(浜松市)の伊藤拓馬理事長がSNSの活用やオリジナルキャラクターを使ったブランド戦略など、所得向上につながった取り組みを発表しました。

北條さんは「SNSで全国に情報発信し顧客の確保を図り、市場価格に左右されない経営を目指している。和紅茶生産やカフェなど地元に着目した茶業経営を心掛けている」と参加者に訴えていました。

中部地域情報交換会 多彩な農芸品アピール

会場には「しずおか食セレクトション」に選ばれた13団体の農産加工品を試食展示するコーナーが設けられ、参加者に静岡の農産品をPRしていました。

静岡市内のホテルで開かれた「中部地域交流会情報交換会」は約240人が参加し、全国の担い手などと交流を深めました。会場には清水みかん共和国の「みかんジュースOSSUSOWAKE」とエタマメ「駒豆」の試食コーナーも設けられ、清水の味をアピールしました。

全国の担い手農業者が集まり、経営改善と地域農業・農村の発展を目指す「第22回全国農業担い手サミットinしずおか」が12月5～6日、本県で開催されました。「深めよう!農のキズナ 高め合おうぶじのくにから～日本の未来のために～」をテーマに県内JAグループなどで作る実行委員会と全国農業会議所主催で、当JA青壮年部員や女性部員代表など全国の認定農業者や関係者など約2000人が参加しました。本県では、2004年の浜松市以来15年ぶりの開催になりました。

新丹谷畑総

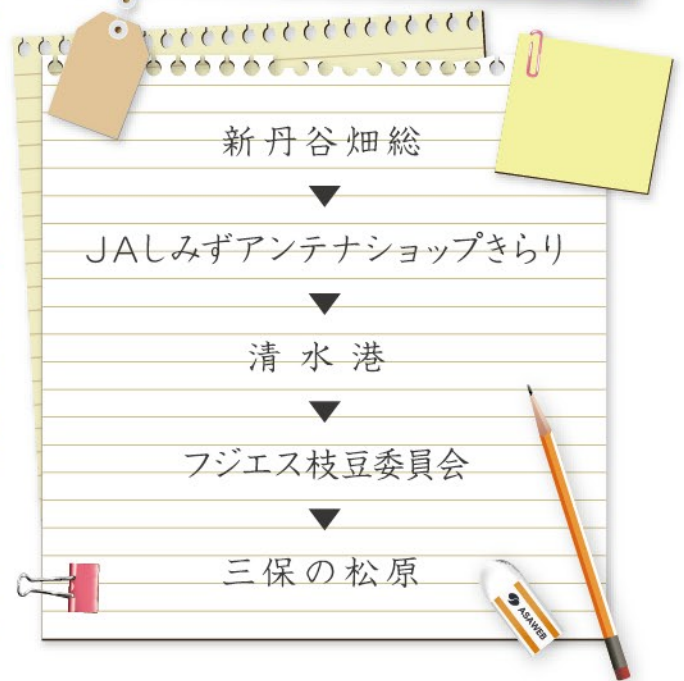
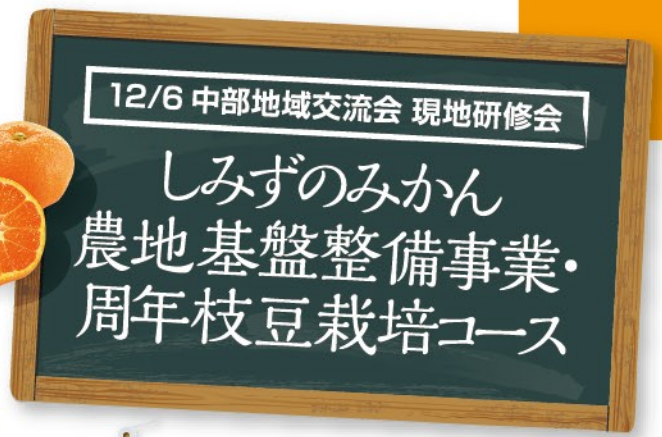
県営畑地帯総合整備事業によって約40haの平坦な農地が完成した新丹谷地区。急傾斜での農作業に比べ、機械化による省力化、担い手への農地集積や規模拡大などが可能となり、産地を支える若手後継者が活躍しています。

主力品種の「青島温州」などの柑橘を中心に栽培されています。



●西ヶ谷量太郎理事長

●事業や柑橘栽培について質問する参加者



アンテナショップきらり

「静岡しみず産」をキーワードに清水産農産品の最高級品や地元清水の名産品が集まる店舗です。

JAが扱う共販農産物の市場外流通を行い、インターネット販売などにより清水の魅力ある商品を全国へ届けています。農業所得の向上や地元農産品のブランド力向上、地域の活性化に力を入れています。



●ハウス内でエダマメを試食した参加者

フジエス枝豆委員会

静岡市清水区の三保・駒越地区は、促成栽培の先進地です。同委員会は全国で唯一、一年を通じて新鮮なエダマメを出荷しています。鮮度保持のための枝付き出荷が特徴です。



●フジエスブランドで販売されている「駒豆」

●齋藤恭市委員長



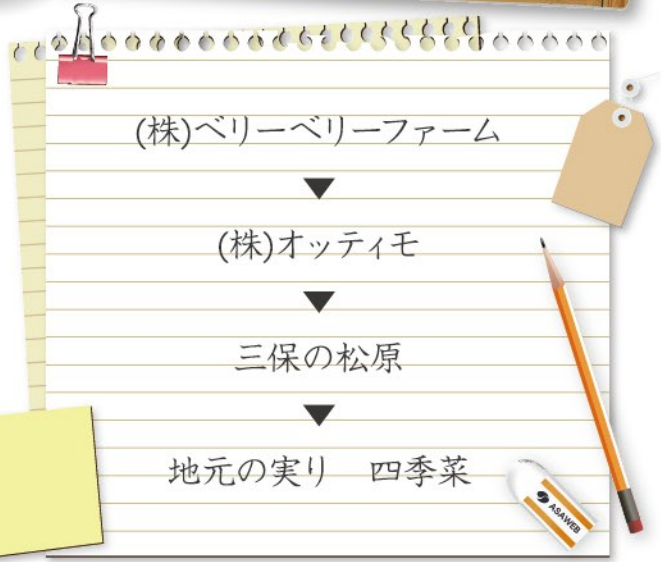
12/6中部地域交流会 現地研修会
**農地基盤整備地で
 営む施設園芸
 イチゴ・こん太コース**



●園主の三浦正規さん ●高設栽培の紅ほっぺとかおり野を視察

(株)ベリーベリーファーム

県営畑地帯総合整備事業によって整備された矢部地区で、イチゴとブルーベリーを栽培しています。天敵やUVランプを利用した病害虫対策で農薬の使用を削減。ハウス内の温度・湿度などの生育環境を管理するシステムを活用し、安全なイチゴづくりに取り組んでいます。



●こん太の魅力や栽培の苦勞などを話す近藤さん(右)

(株)オッティモ

2018年に法人を設立。矢部地区でキンカン「こん太」をハウス栽培しています。こん太は、静岡市清水区で発見されたニンボウキンカンの枝変わり種で、糖度20を超える甘さが特徴です。



●園主の近藤喜美雄さん



●清水生まれの「こん太」

次回は茨城県で開催

2020年は「もうかる農業を実現するため、全国の意欲ある農業経営者が互いに刺激しあい、農家一人一人の経営者マインドの醸成を図る」ことを狙いに、茨城県で開催されます。

12月6日は、県内7地域38会場で現地視察と研修会が開かれました。静岡市清水区は基盤整備事業を中心とした2コースへ計80人が参加し、園地や施設、産地の取り組みを視察しました。

新丹谷地区では、新丹谷土地改良区の西ヶ谷量太郎理事長が事業の経緯や効果の説明。青壮年部の太田洋平さん、望月崇弘さんなど同地区の若手生産者も「作業効率や品質が上がった」と話し、平坦な農地の優位性をアピールしました。続いて訪問したエダマメのハウスでは、フジエス枝豆委員会の齋藤恭市委員長が産地の歴史や取り組みなどを紹介しました。

矢部地区では、イチゴとキンカン「こん太」を栽培するハウスを案内。(株)ベリーベリーファームの三浦正規さん、(株)オッティモの近藤喜美雄さんがそれぞれの作物や経営の特徴を説明し、参加者は近代的な栽培施設と、特色ある農作物に関心を寄せていました。

信子さま タチバナ植樹と畑総新丹谷視察

寛仁親王妃信子さまは12月4日、第22回全国農業担い手サミットinしずおかの現地研修会場となった当JA管内を訪れました。

JA本店でタチバナを記念植樹し、畑地帯総合整備事業で急傾斜のミカン園を平坦に整備した新丹谷地区を視察されました。

本店では、柴田篤郎組合長らが見守る中、本店前のロータリー内に高さ約40cm、横30cmのタチバナの苗木にスコップで土を丁寧にかけられました。信子さまは「未永く大事に育ててください」と話していました。

お手植のタチバナの苗木は、冬の寒さから守るため、茂畑にある県農林技術果樹研究センターで春まで大事に育てています。春になったら再びロータリー内に植えられますので、大きなタチバナと小さなタチバナを見比べてみてください。

苗木は、上皇陛下が皇太子時代の1969年に旧庵原農協へお成りになった際、記念として同農協が植樹したタチバナから枝を接ぎ木して育てたものです。

上皇陛下は皇太子時代に本県産業視察として旧庵原農協を訪れ、当時の缶詰工場や共選場などを視察され、その様子は69年3月1日発行の『農協だより』で見ることができます。

新丹谷地区では新丹谷土地改良区の西ヶ谷量太郎理事長らが出迎えました。西ヶ谷理事長は「ミカン産地を築くため、中山間地を大規模開発し、営農環境の改善を図りました。高品質ミカン栽培が可能となり、担い手後継者も増えています」と説明しました。

信子さまは、見晴らしの良い高台からたわわに実っている広大なミカン園をじっくり視察されました。園地にも立ち寄り、自らミカンを収穫され、生産者を励まされました。



●タチバナの苗をお手植した信子さま



●上皇陛下が1969年に視察されたことが載っている『農協だより』



●信子さまに基盤整備事業の説明をする西ヶ谷理事長

おかげさまで
今年も大盛況でした！

アグリフェスタ しみず 2019



晴天の下、くす玉とクラッカーで
晴れやかに開幕いたしました！

清水区のマスコットキャラ
「シズラ」もきてくれたよ！

子どもたちに人気の
「それいけ！アンパンマン」
ショー

CWOは新曲
「しみずみらい応援団」を披露！



さまざまなか
パフォーマンス
でステージを
盛り上げて
いただきました！



3ページ
QRコードで
チェック!



🕒 ステージプログラム

- 8:45 オープニングセレモニー
- 9:15 オレンジウェーブショー
- 9:35 CWO on STAGE(みーちゃん登場)
- 10:00 海辺deコンサート
- 11:00 「それいけ!アンパンマン ショー」①
- 11:45 餅まき①
- 12:00 「The Legend on Stage」
- 13:00 「それいけ!アンパンマン ショー」②
- 13:45 閉会式
- 13:55 餅まき②

毎年恒例の農業祭「アグリフェスタしみず」を11月24日(日)、清水マリンパークで開催しました。直前まで雨天の予報でしたが、当日は好天に恵まれて気温も上がり、家族連れなど約25,000人が来場しました。

今年は「清水の農林水産業の力で子どもたちの未来を応援しよう」をテーマに、地元・清水の農林水産物や加工品などの即売をはじめ、特設ステージでは子どもたちに人気の「アンパンマンショー」や餅まきなどを行い、CWOユニットが新曲「しみずみらい応援団」を披露しました。



毎年人気の
高糖度ミカンです!!



姉妹提携を結ぶJA大北の
リンゴも大人気でした!



年中採れたて!
「駒豆」もお買い得



出店に協力
していただいた
みなさまへ今年も
ありがとうございました
♪

いらっやいませ〜♪
おいしい清水のお茶を
どうぞ〜♪



あつあつ、焼きたての
きんつばですよ〜



各地域の活動やイベントなど、
さまざまな話題を紹介します。

東海北陸地区JA青年大会

青木さん組織活動発表大会で最優秀賞、全国大会出場へ



▲最優秀賞に輝いた青木さん(右)と中村さん

東海北陸地区農協青年組織協議会は11月22日、福井県あわら市でJA青年大会を開きました。「組織活動実績発表」で本県代表として発表した高部支部の青木雄基さんが最優秀賞に輝きました。青年の主張もJA遠州中央の中村勇貴さんが最優秀賞となり、本県代表の2人が2月に東京で開かれる全国大会への出場を決めました。

青木さんは、青壮年部で取り組んだ有害鳥獣対策活動事例や地域の取り組みを発表しました。自身の農地だけでなく、地域全体で緩衝帯整備や侵入防止柵の設置を進めることで、部の活動周知と、地域との連携強化につなげたことを紹介しました。また、同部が掲げる「みんなが笑い、喜びを生んでいけるように」と「百笑いっ喜」のスローガンも紹介しました。



▲応援に駆け付けた部員たちと記念撮影



▲次期3か年計画を決議した青年大会

第49回静岡県青年大会 青壮年部活動を次世代につなぐ

JA静岡青壮年連盟は11月29日、清水文化会館マリナーで第49回静岡県JA青年大会を開きました。大会には当JA青壮年部員など県内JAから約180人が参加。

現3か年計画の実行報告と10年後の現実像を見据え、次期3か年計画「『繁匠(けいしょう)』One Team未来へ」の実現を審議し決議しました。

次期3か年計画では、組織を通じて自分や仲間の営農を向上させるため①JAとともに農業所得を向上する②農業を将来にわたって継承する③組織基盤を強化し地域を活性化する一を基本目標に活動を展開していきます。

ハーベストカレッジミカン収穫体験 きらり農園で農★Girl体験



▲ミカン収穫体験を楽しんだハーベストカレッジ生

清水区に住む20~40代の女性を対象とした「ハーベストカレッジ」は11月13日、日本平にあるきらり村松農園で早生ミカンの収穫体験を行いました。

柑橘果樹課の小泉政樹主任からミカンの収穫方法の指導を受け、受講生19人が収穫を楽しみました。ミカンの収穫は初めての受講生がほとんどで、たわわに実っている果実をハサミで慎重に切り取っていました。

参加者は「斜面での作業は大変でしたが、楽しかった。子どもにも体験させてあげたい」と笑顔で話し合っていました。

SDGs宣言を発表 農業と地域の持続可能な仕組みの確立へ



▲宣言書のボードを掲げる柴田篤郎組合長(左)と小川通博専務(右)

当JAは12月1日、国連が提唱する「SDGs(持続可能な開発目標)宣言」を発表し、静岡市の行うSDGs宣言制度に届け出をしました。

取り組みの重点項目を▽地域農業の活性化▽環境に配慮した持続的な発展▽魅力ある人材の活躍推進とし、SDGsに沿った事業を加速させ、協同の輪を広げながら、農業と地域の持続可能な仕組みの確立を目指します。柴田篤郎組合長は、「JAは農業の発展と、より良い地域社会を築くための組織。一人でも多くの方に賛同いただき、地域と共に持続可能な農業を目指す」と話しています。

2020年度農業農村整備事業の予算要請活動 予算獲得に向け柴田組合長らが国へ要請

静岡市土地改良連絡協議会の会長である柴田篤郎組合長と田辺信宏静岡市長(静岡県中部土地改良事業推進協議会長)など関係者は11月26日、静岡県選出の国会議員や農水省、財務省を訪れ、2020年度農業農村整備事業予算編成に対する要請書を提出しました。

柴田組合長らは、国会議員などに対し本県中部地域農業の現状を説明するとともに、産地を支える担い手が活躍できる優良農地の整備推進には計画的な実施が必要であると訴え、予算を確保するよう要請しました。

伊東良孝農水副大臣は「中部地域の農業の現状は理解できました」と答えていました。



▲伊東農水副大臣(左から3人目)に要請書を手渡した関係者

庵原支店職員がソバの収穫作業 ボランティアグループと協同活動

庵原支店の職員5人は11月9日、庵原地域のボランティアグループ「フォーラムいはら」が地域内の高山で栽培しているソバ畑で収穫作業を支援しました。

会員から刈り方の指導を受け、かまでソバを次々に刈り取っていきました。ソバは台風の被害を受け、倒伏してしまっているため職員たちは刈り取り作業に苦勞していました。畑は、高山の頂上付近にあり、眺望がよく駿河湾を見ながらの収穫作業に汗を流しました。

参加した職員たちは「8月にまいた種がこんなに成長してうれしい。収穫したソバをぜひ食べたい」と笑顔で話していました。



▲ソバを収穫する支店職員

清水船越小3年生が手もみ茶など体験 家族に美味しいお茶を入れてあげたい

静岡市立清水船越小学校3年生110人は11月15日、お茶の手もみ体験とお茶の美味しい入れ方を学びました。生産者の水野正一さんの茶園で、6月に摘み取った茶葉15kgを使って手もみ茶に挑戦しました。児童らは、手もみ茶工程の中の「揉み切り」作業を体験。水野さんやJA職員の指導に従い、手のひらでこすり合わせるように力を込めてもみました。児童らがもんだ茶葉は、水野さんらが仕上げ、下校時に家庭へ持ち帰りました。

また、茶葉の量やお湯の温度などを調節しながらおいしいお茶の入れ方も学びました。



▲水野さん(右から4人目)らの指導で手もみ茶に挑戦した児童ら

暴力・防犯・交通安全対策協議会 清水署と連携し被害の撲滅を目指す

当JAは11月25日、清水区のマナーハウス・エリザベートで清水警察署と静岡県農協・暴力・防犯・交通安全協議会、警察署特別連絡会を開きました。

柴田篤郎組合長など関係者ら約40人が出席。清水署が管内の犯罪発生状況や、特殊詐欺の手口、交通事故発生状況などを報告。12月から施行された携帯電話使用などの厳罰化についても説明がありました。

JAからも電子詐欺への対応方法の質問や、事故が発生している交差点についての報告などさまざまな意見が出され、犯罪や事故の増える年末年始を前に、防犯意識を高めていました。



▲交通安全などについて協議した協議会

JAしみず石垣苺生産者大会 販売目標2.5億円達成へONE TEAM!



▲高品質イチゴの出荷を確認した生産者大会

JA石垣苺部会は11月26日、本格的な出荷を前に駒越営農拠点で石垣苺生産者大会を開き、部会員、市場担当者ら関係者約50人が出席しました。今年度は45戸の部会員が「紅ほっぺ」を中心に64万2000パック、2億5000万円を目指します。

JA静岡経済連などからの情勢報告や、東京青果の小野塚大吾果実第一事業部マネージャーから「産地に求めるイチゴについて」と題した講演も聞きました。

岩品栄治部会長は「『販売目標2.5億円達成へONE TEAM!』の大会スローガンで地元の特徴を生かしたイチゴを出荷しよう」と生産者らに訴えました。

女性部由比支部が出前講座 由比小1年生に地元の野菜で食育授業



▲部員が育てた野菜を確認する児童たち

女性部由比支部は11月20日、静岡市立由比小学校1年生を対象に地元で栽培している野菜について食育授業を行いました。児童や女性部員など約50人が参加。

部員たちが栽培した野菜を持ち寄り、安全で安心して食べてもらうための栽培方法や鳥獣害対策などを説明しました。

児童らは、部員が持ち込んだ野菜を手に取り、大きさや香りなどを確かめていました。栽培の話聞いた後、部員たちが栽培した野菜を使って料理したカボチャの素揚げとゆでたサトイモを味わいました。



こだわり♪ レ・シ・ピ



きらび香の甘酒ティラミス

～甘酒とマスカルポーネチーズで作るヘルシーな和スイーツ～

材料 4個分

- きらび香……………10個
- ジンジャーシロップ……大さじ2杯
- ショウガ……………100g
- 砂糖……………100g
- 水……………100ml
- レモン果汁……………40ml
- 山椒……………適量
- おからパウダー……………大さじ8杯
- マスカルポーネチーズ……………250g
- 甘酒(濃縮タイプ。同量の水で薄める程度の濃さのもの)……大さじ4杯
- 甘納豆(黄色)……………少々



作り方

1. きらび香を切る

きらび香は、ヘタ側から5mm幅の輪切り(1個あたり4枚程度)にし、残りの先端部分は縦半分に切る。輪切りにした部分はティラミスの間に挟み、先端部分は飾りに使うので、イチゴと器の大きさに応じて、輪切りにする部分の枚数で調整する。



2. ジンジャーシロップを作る

ショウガをすりおろし、砂糖、水とともに鍋に入れ、中火で沸騰させる。弱火で半量程度になるまで、10分程度を目安に煮詰める。火を止め、熱いうちにレモン果汁と山椒を加えて冷ます。

3. ティラミスの土台を作る

ボウルにおからパウダーと(2)で作った

ジンジャーシロップを入れ、よく混ぜる。4つの器の底に詰める。おからパウダーがなければ、きな粉や甘さ控えめのクッキーやクラッカーを砕いて使ってもよい。

4. チーズクリームを作り仕上げる

マスカルポーネと甘酒をボウルに入れ、しっかりと混ぜ合わせる。1/8量(3)の器に入れ、輪切りにしたきらび香1/4量を並べる。さらにチーズクリームの1/8を入れて表面をならし、縦半分に切ったきらび香5枚を梅の花をイメージしながら並べる。中心に刻んだ甘納豆を飾りつける。

ジンジャーシロップが余ったら

湯を注げば、おいしいホットジンジャードリンクに。牛乳やミルクティーにも合います。



遠山 由美

野菜ソムリエ上級プロNR、食育プロデューサー他<略歴>

日本初の「シニア野菜ソムリエ」第1号取得者。野菜や果物の魅力を料理、栄養学、食育など多くの手法で伝え、生産者と消費者の掛け橋として、テレビやラジオなど多方面で活躍中。

旬のまめ知識



きらび香

2019年12月開催「第30回静岡県いちご果実品評会」。王者・紅ほっぺをおさえ第1位(=農林水産大臣賞)を獲得したのは「きらび香」でした。複雑な交雑育種の末、累計28万株の中から選抜されたトロピカルで新しい味わい「きらび香」。誰からも愛されるクラシカルなおいしさ「紅ほっぺ」。ロングセラーの「章姫」もごひいきに!

JAしみずの 冬定期

2019 ウィンターキャンペーン

お預け入れ金額 **20万円以上 1,000万円未満**

取扱期間 令和元年 **12月2日(月)** ~ 令和2年 **1月31日(金)**

組合員または組合員同居のご家族の方

スーパー定期1年

店頭表示金利に

0.10% 上乗せ

組合員以外の方

スーパー定期1年

店頭表示金利に

0.05% 上乗せ

※既に当JAにお預けいただいている定期貯金から、本商品に切りかえることはできません。

※中途解約する場合は、当JA所定の中途解約利率を適用します。

※自動継続時の利率は、店頭表示金利となります。

※ATM定期貯金とメリットーのおまとめ対象定期貯金は対象外となります。

※利息に20.315% (国税15.315%、地方税5%)が分離課税されます。

※詳しくはお近くのJAしみず窓口までお気軽におたずねください。

清水厚生病院健康管理センター

ドックの オプション



1日人間ドック、共済ドック、1泊2日ドックでは、基本の検査のほかにさまざまなオプション検査を追加することができます。具体的な不安を感じていない項目でも、検査によって異変が見つかる場合もあるので、ドック受診の機会に追加することをお勧めします。

項目	内容	
骨密度検査	かかとの骨に超音波を当てて検査します	
前立腺腫瘍マーカー	前立腺がんで値が高くなります	腫瘍ができると発生する特有の物質を見ることで、腫瘍があるか予想する補助的な検査です。血液検査で測定します
男性腫瘍マーカー	消化器系や肝臓のがんを見ます	
女性腫瘍マーカー	上記に加え、卵巣がんを見ます	
心不全マーカー	血液検査により心臓への負担の程度を調べます	
胃がんリスク検診(ABC検診)	血液検査で胃の健康度を検査します(胃がんの有無を診断する検査ではありません)	
内臓脂肪量測定検査	CT画像を撮影して内臓脂肪の面積を測定します	
血管年齢検査	両手両足に装置を付け、血圧の比率や脈が伝わる速度を測定します	
胃部内視鏡検査	カメラを使って胃を直接観察します※実施できない日程があります	
子宮がん検査	医師による内診と子宮頸部の細胞を検査します※実施できる曜日が決まっています	
乳がん検診	触診とマンモグラフィによる検査です※実施できる曜日が決まっています	

オプション検査はすべて別料金となります。人数制限のある検査もありますので、ご希望の場合は お早めにご予約ください。なお、共済ドックのオプションは受診日の3週間前からの受付となります。



JA静岡厚生連
清水厚生病院 健康管理センター

TEL : 054-366-3769 (直通)
FAX : 054-366-3407



☆ドック、健康診断はすべて予約制となっております。予約をご希望の方は、お電話または直接ご来院ください。

☆JA組合員の方は、ドックに組合員料金がございますので、お気軽にお問い合わせください。

☆共済ドックは、JAよりご案内しておりますので、ご利用ください。

新商品のご案内

1/4(土) 新発売! 清水の紅茶ボトル缶

清水を代表するブランド茶「まちこ」をふんだんに使用した
ボトル缶「清水の紅茶」300g缶を新発売しました。

国産紅茶本来のやさしい甘みとやわらかな香りを存分に味わえる
無糖紅茶です。

販売店舗 アンテナショップきらり、
宮農窓口、産直プラザふれっぴー

お問い合わせ アンテナショップきらり
tel.0120-322-064

価格

通常価格 3,500円/24本入
(税込み)

▷▷ 新発売キャンペーン価格 **2,800円**(税込み)

パッケージは
「清水のお茶」ボトル缶
シリーズとデザインを統一し、
和紅茶の赤をイメージした
色調で仕上げています。

3月
まで

受験生を清水の農産品で応援します!

「きらり合格祈願セット」

2017年1月の販売以来、大好評の受験生応援茶「まちこ合格祈願」
に、インフルエンザ予防が期待される「和紅茶」と「しみずの風こしひかり」
がセットになってパワーアップ!

出世大名として知られる徳川家康公ゆかりの「清見寺」で
合格祈願をしていただいた3品セットを入試シーズンに
合わせ、期間限定販売します。

販売期間 **3月23日(月)まで**
(国立大学合格発表の最終日)

お問い合わせ アンテナショップきらり
tel.0120-322-064

価格

通常価格 2,147円(税込み)

▷▷ 受験生応援価格 **1,860円**(税込み)

まちこ
合格祈願

ティーパック3g×9

桜葉の香りで
リラックス清水の
和紅茶

ティーパック3g×5

インフルエンザ
予防に期待!合格
祈願しみずの風
こしひかり

300g×1

体力勝負!
受験生の
夜食に!

【会員募集】不動産オーナーの方へ

JAしみず資産管理同友会(オーナーズクラブ)

対象 JAしみずの組合員で不動産経営をされている方

目的 不動産経営に関する知識の向上、情報の提供、
会員相互の交流
会員数 838人(2019年4月1日現在)

活動内容 顧問弁護士による無料法律相談会(毎月1回)
視察親睦旅行(年2回程度)
不動産に関する税務・法務研修会(年2回程度)
会員向け広報誌「いずみ」の発行(年2回程度)

会費 入会金:2,000円 年会費:2,000円

お問い合わせ JAしみず 不動産センター tel.054-367-3215

理事会だより

議事

定例理事会2019年11月25日(月)

- 令和元年度上半期経営状況の開示について
- 農林年金にかかる特例業務負担金の長期前納への対応について
- 組合員の出資口数減少の申し出について
- 静岡市土地利用審査会委員の推薦について
- 理事に対する貸出議案について
- 冬期賞与の支給について



編集後記

昨年、寛仁親王妃信子さま
がご来清されました。上皇
陛下が庵原農協にご来清されて
から50年目のこと。JAしみず
の歴史に、新たな1ページが記さ
れました。歴史=広報誌。今年
も、JAの歴史をしっかりと記録
していきたいと思ひます。

(伊藤)

免疫力が弱くなったのか、
風邪をひきやすくなった上
に、治りにくいというお年頃。そ
ういえば何だか最近ひざも痛
いような(泣)。何はともあれ体が資本。
今年は健康第一を目標に、よ
く食べ、よく寝て、よく笑う!

(杉山さ)

ここ数年、元旦の初仕事と
して近くの山から初日の出
を撮影している。愛機をセッ
トし、伊豆半島から昇る日の出
を見ながらシャッターを切る瞬間
は心身ともに清められる。さて
今年も体を労わりながら頑張
ろう!とわが身に言い聞かせる

(杉山滋)

明けましておめでとうござ
います。このあいだイチゴ
について調べていたら種子に見
える一粒一粒が瘦果(そうか)と
呼ばれる実の部分で普段食べて
いるところは花托(花床ともい
う)という茎が厚くなったものと
知り驚きました。

(見宮)

農業経営講座のご案内

2019年度 第2回農業経営講座

開催日時 **2月13日(木)**
14:00~15:30

会費 **無料**

会場 清水ふれあいホール
静岡市役所清水庁舎3階(清水区旭町6番8号)

対象者 静岡市内の農業者 ※一般の方も受講できます

演題 **アグリビジネス最前線**
~ソフトバンクが提案するスマート農業~

講師 ソフトバンク株式会社
法人プロダクト&事業戦略本部
公共事業推進室担当部長 西沢 志信 氏

申し込み **2月7日(金)までに**
FAX(講座名、氏名、住所、作目、
参加者人数、電話・FAX 番号を記載)
またはお電話にてお申し込みください。

お問い合わせ 静岡市役所 農業政策課 農業支援係
TEL:054-354-2086 FAX:054-354-2482

アグリ
ビジネス
最前線

こども園近くの山へ!!
Let's go オー——ッ!!

フ・パ・ワ じみず子



いーい
ー



たくさん
ミカンが
なってる
よー



草薙ふたばこども園
(清水区草薙)

3~5歳児クラスの園児がミカンの収穫を体験しました。
園児たちは小さな手で実をもぎ取り、その場で味わいました。
自分で収穫したミカンの味は格別だったようです。

ふくろに
いっぱい
採れたよ!

みんなも上手にミカンとれるかな?



地域のボランティアグループ
「団地工房ゆう」が収穫体験をサポート



とっても
おいしい
でえー!



よい
しょー

景色が良くてとっても
いいお天気の日でした!!



おいし
かった



出演募集

このコーナーでは、ご出演いただける清水区内のこども園や保育園、幼稚園を募集しています。詳しくは左記のJA広報課まで!



3ページ
QRコードで
チェック!